

# 辺野古土砂北九州

発行…2026年5月号・No.71

## あたらしい憲法のはなし 文部省

### 六 戦争の放棄

…そこでこんどの憲法では、日本の国が、けつして二度と戦争をしないように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないということです。これからさき日本には、陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄といえます。「放棄」とは、「すててしまう」ということです。しかしみなさんは、けつして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの国よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらいい強いものはありません。

もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、けつして戦争によって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとそうとしないということを決めたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けつきよく、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。(…戦争の放棄の全文はP8に)

※新しくできた憲法を学ぶために、「あたらしい憲法のはなし」は、1947(昭和22)年8月発行され、全国の中学生在が1年生の教科書として学んだ。しかし、1950年にはじまった朝鮮戦争の関係で、この教科書が使われたのは2、3年だった。

### 《目次》

- 【告知】「辺野古土砂ストップ北九州」第12回定期総会…………… 2 ページ
- 【TBS 報道特集】古賀誠氏「9条の語り部として人生を終えたい」…………… 3 ページ
- 【武器輸出】解禁は「戦争を期待する国」への道(宗吉信)…………… 9 ページ

写真…TBS「報道特集」画面、デモカレンダーアプリ



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

# 《ご案内》

辺野古土砂ストップ北九州

## 第 12 回定期総会

●2026年7月26日(日)14時～

●北九州生涯学習総合センター

(1F 婦人会館) A 会議室

《1部》…DVD 上映等(内容については、只今検討中)

《2部》…総会

※議案(会報7月号)は、7月1日(水)郵便局より発送予定。会員のみなさんの「会費納入状況のお知らせ」も、同封します。

※また、総会に参加できない方は、同封の「議決書」の葉書をご活用ください。

## 世話人を募集します

新年度を迎えるに当たり、新しい世話人を募集します。任期は1年です(再任あり)。世話人会は月1回で、毎月最後の水曜日の14時から、小倉北区の生涯学習総合センター(小倉北区大門・警察署の横)で行っています。どんな感じなのか興味のある方は、一度世話人会をのぞいて見ませんか? 5月は27日(水)14時から行います。6月は今のところ24日(水)14時からの予定です。

5月2日【報道特集】話題に

語り部として『9条を守ろう』という  
ことだけは言い続けたい…  
自民党元幹事長・古賀誠さん(85)



5月2日の報道特集(TBS テレビ)で、自民党の元幹事長・古賀誠氏が、憲法9条について語っていました。古賀氏が福岡県選出だったと言う事もあり、太平洋戦争でお父さんを亡くされ、遺族会の会長を長く務められてきたことは、県内ではよく知られているのではないのでしょうか。

古賀氏はインタビューで、9条へのあふれる思いや、「僕は強い国ってというのは、国民の命を大切にできる国だと思う」と語るなど、その内容は、とても素晴らしいものでした。

※写真は、報道特集の動画から取っています。

※小見出しは、当会で付けました。



インタビュアーは、番組の日下部正樹キャスターです

## 《世界の国々が 9 条を持った時、初めて世界が平和に》

- 日下部キャスター …9 条は変えた方がいいですか。守るべきですか。
- 古賀誠氏…守るべきです。憲法 9 条のある国に生まれて誇りに思うし、ありがたいと思って感謝してる。世界の国々がこの 9 条を持ったら、その時初めて世界で戦争の起きない、世界が平和に生きていけるんじゃないかなと思う。まさに理想論だけれども、それほど、我が国の 9 条っていうのは、僕自身にとっても、また国民にとってもね、大きな役割を果たしてくれたなど、真から思ってる。だから、憲法 9 条には、世界を平和にする力がある。だから憲法は世界遺産だ。真から思ってる。
- 日下部キャスター …今の政治家にそういうことを言ったら、どういう反応が返ってきますか？
- 古賀誠氏…いや、これはもう恥ずかしいけどね、これ言うとな、またかという人と、理想論より夢物語だろうという感じの返答しか返ってきません。返事をくれるならまだいい方。何も言わずに、せせら笑われてるんじゃないかと思う虚しさ。そんな状況ではないかと思うね。

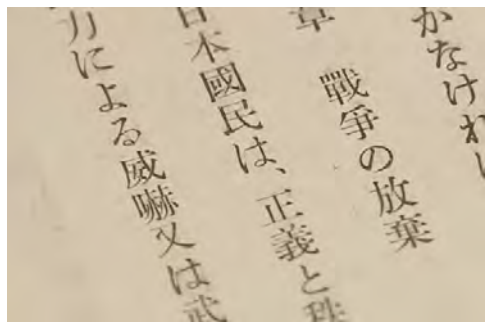
## 《憲法があったから…の実例は？》

- 日下部キャスター …実際に、憲法があったからこそ日本はこうだったっていうことはあるんですか？
- 古賀誠氏…一番はっきり分かりやすいのが、日本の経済がここまで大きくなったのは、戦争がなかったからだと思いますよ。これが一番大きな要因だと思う。だからこんな国に生まれてよかったと、私は思ってる。
- 日下部キャスター …それは新たな憲法があったから？

- 古賀誠氏…憲法9条の果たした役割というのは、我が国の平和を続けることができた根幹ですから基本ですから。九条があったから、私はこんにちまで世界の各地で起きている紛争に巻き込まれなくて、平和を続けることが出来た。やっぱり経済が大きくなる。スポーツも芸術も、いろんな生活の中で、人間の豊かさってものを作り出すものが、戦争がなかった平和な国だったからこそ、今の日本がこのレベルに達してると。私はこれは間違いないと思う。だから、本当に世界の国が、日本と同じようにこの九条の条項を持つ憲法を持つことができれば、世界は平和になっていくんじゃないか。だから世界遺産だ。それだけの力を信じようというのが、私の85年間の全てです。

## 《勉強してほしい…歴史の検証や平和憲法の歩み》

- 日下部キャスター …古賀さんは戦中に生まれて、敗戦後の日本の状況もご存知で、ある意味戦争のリアリティっていうものを知ってらっしゃる。今の政治家には、同じ戦争についても全く考え方が違うなっていうような時はありますか？



- 古賀誠氏…そうですね。今の若い方々の平和とか戦争っていうものに対する考え方っていうのは、極めて理屈で割り切る。このことがね、本当に今の若い人達の政治に顕著に出てくる。だけど戦争・平和と言うのは、理屈で割り切れないものなんですね。戦争や平和が理屈で割り切れたら、何の苦労もないと僕も思うけど、戦争だけは、この理屈を超えたものなんですね。だから怖いし、だから大事にしなきゃいけないし、政治家はもっと戦争と平和っていうものに対して、歴史を検証する。そして、平和憲法っていうものの今日までの歩み。そういったものを勉強してもらいたいと。
- 日下部キャスター …この前の総選挙ですね。ま、自民党あるいは高市さんが大勝したことによってですね、高市総理がずっと唱えてる憲法改正が具体的になってきたと思うんですね。
- 古賀誠氏…憲法の改正議論というのは、ご承知のように、現行憲法にも96条「憲法の改定」っていう項目はちゃんとありますから、憲法の議論というのはとっても大事であって、また改正すべきところは改正していかなければいけない。これは当然のことです。国会議員であればあるほどね、憲法の改正議論については、常に研究して勉強してやっていくということは、一番大事な国会議員の責務だということもよく分かります。

しかし、そのためにはね、現行憲法である国民主権・基本的人権・平和主義の三つをね、きちっと残しながら、そしてどの項目からそれがなぜ必要なのかっていうこと

を、国民と共に共有していく議論。これが僕は大事なことなんだろうと思います。

- 日下部キャスター …憲法は絶対守らなきゃいけないんだっていう人たちと、アメリカから押し付けられた憲法だから早くやめようっていう、非常に両極端な意見があると思うんですけども、その点どう捉えていらっしゃいます？
- 古賀誠氏…憲法がアメリカから押し付けられたとか、そういう議論は、私は今やるべきことではないし、そういう議論してる方の真意がよく分かりません。戦後 80 年生きてきたこの憲法の役割で、今の日本の国があるのは、これは間違いないことで、そうであればこの憲法に誇りを持つ、そして憲法の持つ最も大切なものを大事にする、それは当然のことではないでしょうか。

その上で、変えるべきもの、また変えなければいけないもの。その項目に優先順位をつけて、しっかりと国民の皆さん…国民が決めることですから憲法は…最終的には国民の皆さんともコンセンサスを大切にしながら、しっかり共有した議論を私はやっていくということが、総裁として一番大切なことではないでしょうか。

## 《民主主義って、国民の知る権利をどう担保するかということ》

- 日下部キャスター …まあ、高市さんが日米関係を重視してるのは分かるんだけど、日米首脳会談で「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」だというようなこと。これに対してまあ日本国内でも賛否あるわけです。
- 古賀誠氏…そこまでね、アメリカのトランプさんに期待する、尊敬するものがあるのか考えるとね、少し行き過ぎではないかな。日本の国も立派な国家。アメリカに負けない素晴らしいものをたくさん持ってる。だから、日本の国として正直に、本当の考えをね、ぶつけるべきなんだろうと僕はそう思った。お世辞という言い方は高市さんには失礼かも分かんけど、少し行き過ぎではないかな。今度の日米首脳会談では、9 条というものがすごい盾になった。高市さんに「よかったじゃないですか。9 条があって」と僕は言いたいぐらい、そんな感じは持ちますね。

いま大切な安全保障の問題でもね。立憲主義である以上国会で議論して、国会で賛否をとって、そして決めていく。国民になぜこの法律が必要なのか？なぜここがこう変わっていかなければいけないのかということ、しっかり国民が知るそういう場面、またそういう手続きっていうのが、おかしくなってるでしょう。

集団的自衛権だって閣議で決めるって言うんでしょう？ こんなことが、よく通ってきてるなと思いますよ。正直言って。それと軍事大国にならないことも大事なことなんだけれども、これももう勝手に、「2027 年に



は GDP の 2%」に決めちゃったでしょう。これも国会で議論するとか、そうした手続きの大切さというのは飛んじゃってる。軍事への GDP の 2%、軍事大国そのものですよ。こんなことをね、国民の皆さんにお願いしてるわけですから、それなりの手続きというものの説明ができる国でなければならない。それがすっ飛んだら民主主義国家じゃないですよ、僕はそれほど憤りを感じる。

### 《宏池会で最初に学んだ四つのこと》

● 日下部キャスター …ずっと日本の防衛の基本方針だった専守防衛とかね、そういう、じわじわじわじわ壊れていく。

● 古賀誠氏…そうですね。そういう怖さがあります私は。戦後 80 年の中でね。アメリカが展開する戦争に、日本の国はおかげさまでね、一緒に巻き込まれることはなく平和を全うできた。日米安保のある中で、それができたところがやっぱり



9 条があったから、その抑止力として、アメリカとともに戦うことが避けられたと思うんですね。

何もかもあつと驚きますよ僕は。こういう事態が次から次に進められているということにね。やっぱり憲法の尊重・歴史認識・軍事大国にならない・言論の自由…これは宮澤イズム。宏池会って言われている我々が、最初に政治の道で学んだ一番大事なことだと私は誇りに思っている。

● 日下部キャスター …今はもう日本がなくなりつつあります。

● 古賀誠氏…だんだんなんか戦争が近づいてくるような、そんな怖さを感じますね。

● 日下部キャスター …古賀さん自身が感じてますか？

● 古賀誠氏…はい、我々みたいに戦争というものを、心の中や体や肌に染み込ませている私さえも、そういう感じを持つわけです。本当に日本の国の平和っていうのは続けられるのかなど。どれをとっても大事ですよ。あの四つは本当に。

### 《九条を守ろうと言い続けて人生を終えたい》

● 日下部キャスター …武器輸出に関して。これ、宮澤さんの発言ですか。海外に武器を売って儲けるほど落ちぶれてないと言ったのは。

● 古賀誠氏…いいこと言っていますよ、先輩は。僕はやっぱり強い国っていうのはね、何を基準に強い国って言うんだらうかって。

武力を十分準備して、ドンパチで負けないよってというのが強い国なのか、それとも世界の国々から信頼と信用され、生まれた国に誇りを持つ国民なのかどうか。これが僕は強い国を決めるんじゃないかなと思うんですね。僕は強い国ってというのは、国民の命を大切にできる国だと思う。9条が今日の日本の国の繁栄を築いた。この感謝を忘れてはならないし、これは日本の根幹です。日本人がこれからも持ち続けなければいけない大切な大切なもので、私はそう思う。この9条から日本の国は、また新しい歩み始めていく。一番の思いは9条です。これからもう限られた人生ですが、残っているものは何の力もないけれども、語り部として、9条を守ろうということだけは言い続けたい。これで私の人生を終えたい。最後まで。



## 表紙の「新しい憲法のはなし」の《六 戦争の放棄》の全文です

みなさんの中には、こんどの戦争に、おとうさんやいさんを送りだされた人も多いでしょう。ごぶじにおかえりになったでしょうか。それともとう／＼おかえりにならなかったでしょうか。また、くうしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の國はどんな利益があったでしょうか。何もありません。たゞ、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこただけではありませんか。戦争は人間をほろぼすことです。世の中のよいものをこわすことです。だから、こんどの戦争をしかけた國には、大きな責任があるといわなければなりません。このまえの世界戦争のあとでも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの國々ではいろ／＼考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまったのは、まことに残念なことではありませんか。

そこでこんどの憲法では、日本の國が、けっして二度と戦争をしないように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないということです。これからさき日本には、陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄といいます。「放棄」とは「すててしまう」ということです。しかしみなさんは、けっして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの國よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。

もう一つは、よその國と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないということをきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの國をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、國の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄というのです。そうしてよその國となかよくして、世界中の國が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の國は、さかえてゆけるのです。

みなさん、あのおそろしい戦争が、二度とおこらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。

# 武器輸出解禁は 「戦争を期待する国」への道

世話人 宗吉 信

## ■平和主義の大きな転換点

4月21日、高市内閣は武器輸出5種類の制限を廃止して、殺傷能力のある武器輸出を全面解禁しました。このことについて「高市首相は『平和国家としてのこれまでの歩みと基本的理念を堅持することに、全く変わりはない』と、あたかも平和主義を堅持しているように発言しているが、世界はそう捉えていない。日本が平和主義を捨てるというイメージが世界中に拡散されていくのは確実だ」（古賀茂明 AERA4月28日）という見方に納得します。

私たちは、これまで何度も騙されてきましたが、今度ばかりは日本の平和主義の大きな転換点になってしまうことを、しっかりと見抜かないといけません。「戦後日本の防衛政策を特徴づけてきた平和主義から、日本政府が離れていく転換点において、この決定は一つの節目となる」（BBC NEWS JAPAN）と、海外のメディアは見ています。

## ■世界に一目置かれてきた日本の平和主義

2022年2月に、ロシアによるウクライナ侵攻が始まった直後の3月、武器支援を求めて世界各国を訪問したゼレンスキー大統領が、日本の国会で演説した時、武器供与を要請しなかったのは、日本国憲法第9条を尊重したからだ、と、ウクライナの駐日大使が語っていたそうです。最近ではトランプ大統領さえ、ペルシャ湾への艦船派遣を要請できませんでした。近年、国内では「お花畑」となじられる平和主義ですが、世界は日本の平和主義に重みを持って捉えており、日本が海外から敬意を持って見られる大きな理由の一つでもあるそうです。

## ■国民は騙されてきた

2015年の集団的自衛権行使の一部容認など、これまで何度も転換点はありました。でも「多くの国民は、北朝鮮のミサイル、ロシアの脅威、そして中国による台湾有事が日本有事になるという『安全保障環境の激変』に対応するための『抑止力強化が不可欠』という」（古賀）作り話に騙されてきました。嘘とまやかしの中で「日本は静かに平和主義を放棄」（BBC）してきたのです。

## ■武器輸出全面解禁の目的

ウクライナとロシアの戦争で、ウクライナは弾薬不足になりました。ヨーロッパ諸国の支援で何とかまだ戦っていますが、もし島国の日本だと戦争中に他国から船や飛行機で武器移送など危険で不可能です。だから自前の武器が必要と防衛関係者は感じたそうです。

そのためには、輸出も認めて国内の武器産業が儲かるようにし、生産ラインを確保して研究開発への投資も活発にできるようにしたい。さらに、武器産業を成長戦略の柱にして「日本列島を強く豊かに」したいようです。でも、家電さえも海外で苦戦している日本が、後発産業である武器で海外に買ってもらえるような、儲かる物を作れるのでしょうか？ 艦船以外の陸上兵器は、海外と要求事項が違い過ぎて売れないだろうという見方もあります。

## ■「戦争できる国」どころか、「戦争なしでは生きられない国」へ

売れない方が幸いだと思います。もし売れて儲かるようになり、それで経済が豊かになり、国民の中に武器生産への支持が高まると、戦争によって武器が消費されることを歓迎するようになります。つまり、世界のどこかでもっと戦争をやって、武器がさらに売れることを期待するようになるのです。アメリカやヨーロッパの一部の国は、すでにそうなっています。

## ■落ちぶれてはいけない

戦後の日本はそんな国ではありませんでした。1976年の衆議院外務委員会で、当時の宮澤喜一外務大臣は「我が国は兵器の輸出をして金を稼ぐほど落ちぶれてはいない。もう少し高い理想を持った国として今後も続けていくべき」と言っていました。本当に、こんな理想を持った国だったのです。2008年発行の外務省パンフレットでも、「日本は原則として武器輸出を行っていません。輸出を前提とした軍需産業もありません。このため、国連を中心とする枠組みを通じて国際社会をリードしています」と述べています。日本は憲法第9条の理念をもとに、武力に頼らない平和のあり方を世界に訴えてきたのです。

「お花畑」結構!! 武力に対して武力で対抗しようとしても、より力の強い国に勝てるわけありません。日本は武器を売って儲けるような国になってはいけません。それは平和を求めるより、戦争を期待する国になってしまうからです。本当に落ちぶれてはいけません。

## ■平穏に暮らせるよう立ち上がる

人口も減っていき高齢化が進む日本は、もう二度と高度成長期のような経済的豊かさ

は期待できないと思います。武器を売って、もう一花咲かせようなんて、さもないこと考えずに、つつましくとも平穩に暮らす方が身の丈に合っているのではないのでしょうか？

でも、こんな大きな転換点を迎えても、また騙されたり諦観したりで、何の行動も起こせないのでは、平穩に生きることさえできなくなります。幸い、国会前だけでなく、各地で呼応したデモに若い人たちも集まるようになってきているそうです。「デモカレンダー」というアプリも活用して、自分に近い所から、ペンライトを持って声を上げていきたいと思います。多くの方と出会えることを楽しみにして。(むねよしまこと)

※このレポートは引用部以外にも多分に古賀茂明氏の記事に拠っています  
その他の参考文献 構二葵 8bitNews

デモカレンダーを検索し地域を選択すると、その地域(九州・沖縄…などの大きな範囲)をクリックすると、各地の集会の案内を見ることが出来ます。上の画面には、黒崎・小倉・沖縄県の集会が紹介されています。

当会の5月の街頭宣伝は、  
5月22日(金)16時から  
JR小倉駅前(ペDESTリアンデッキ)  
で行います。  
プラカードはあります。  
お気軽にご参加ください。

今月は金曜日ですよ～



## 《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 5月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～
- 5月27日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 5月31日(日)～6月2日(火)…土砂全協第13回全国総会 in 沖縄
- 6月10日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 6月27日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16:00～



### 「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000円・団体 3000円)です。

**カンパ熱烈大歓迎!**

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



### 《**辺野古土砂ストップ北九州**》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2026年5月13日発行